

緊急度判定フローチャート

1 1 9 番通報

奈良県版

奈良県メディカルコントロール協議会

目 次

・ 緊急度の詳細	...	P. 1
・ 緊急度とその定義	...	P. 2
・ 119番入電時導入要領フローチャート	...	P. 3
・ 緊急度判定のアルゴリズム	...	P. 4
・ 症候別インタビュー…【意識障害】	...	P. 5
・ 症候別インタビュー…【けいれん】	...	P. 6
・ 症候別インタビュー…【呼吸困難】	...	P. 7
・ 症候別インタビュー…【具合が悪い・気分が悪い】	...	P. 7
・ 症候別インタビュー…【胸痛（非外傷性）】	...	P. 8
・ 症候別インタビュー…【動悸】	...	P. 8
・ 症候別インタビュー…【腰背部痛】	...	P. 9
・ 症候別インタビュー…【腹痛】	...	P.10
・ 症候別インタビュー…【下血】	...	P.10
・ 症候別インタビュー…【成人の嘔気・嘔吐（16歳以上）】	...	P.11
・ 症候別インタビュー…【頭痛】	...	P.11
・ 症候別インタビュー…【めまい】	...	P.12
・ 症候別インタビュー…【しびれ】	...	P.13
・ 症候別インタビュー…【成人（16歳以上）の発熱】	...	P.14
・ 症候別インタビュー…【小児（16歳未満）の発熱】	...	P.14
・ 症候別インタビュー…【小児の嘔気・嘔吐（16歳未満）】	...	P.15
・ 症候別インタビュー…【外傷】	...	P.16
・ 症候別インタビュー…【固形物誤飲】	...	P.17
・ 症候別インタビュー…【中毒】	...	P.17
・ 症候別インタビュー…【小児の頭・頸部外傷（16歳未満）】	...	P.18

◎ 緊急度の詳細

赤	
R1	心肺停止あるいは心停止寸前の状態であり、一般的に救急車は当然のこと、消防車も含め利用可能な複数の隊の動員で即応する必要がある。 さらに発生に関して目撃があり、発生場所が公衆の出入りする場所の場合は、社会復帰する可能性もより高くなるため、心拍再開後の状態安定化や、難治性心室細動に対する薬剤投与や PCPS 適応決定の判断のために、ドクターカーの追加派遣を検討してもよい。
R2	呼吸不全やショックなど、高度な医学的判断、処置が必要な状態であり、救急車の迅速な出動が必要である。さらに呼吸、循環、意識のうち2項目以上に異常が認められる場合には、心停止寸前の状態であり、気管挿管や薬剤投与等の医療行為が実施可能なドクターカーの追加派遣を検討すべきである。
R3	R1、R2 程ではなく、医学的判断の必要性よりも、救急隊による迅速な現場へのアクセス、医療機関への搬送が優先される状態。

黄	
Y1	医学的判断の必要性は高いが、現場での救急処置の必要性は低く、医療機関への搬送ができれば目的が達成される状態。
Y2	Y1 よりさらに医学的判断の必要性が低く、医療機関への搬送ができれば目的が達成される状態。

緑	
G	医療機関での診察を必要とするが、原則的に救急搬送の必要がない状態

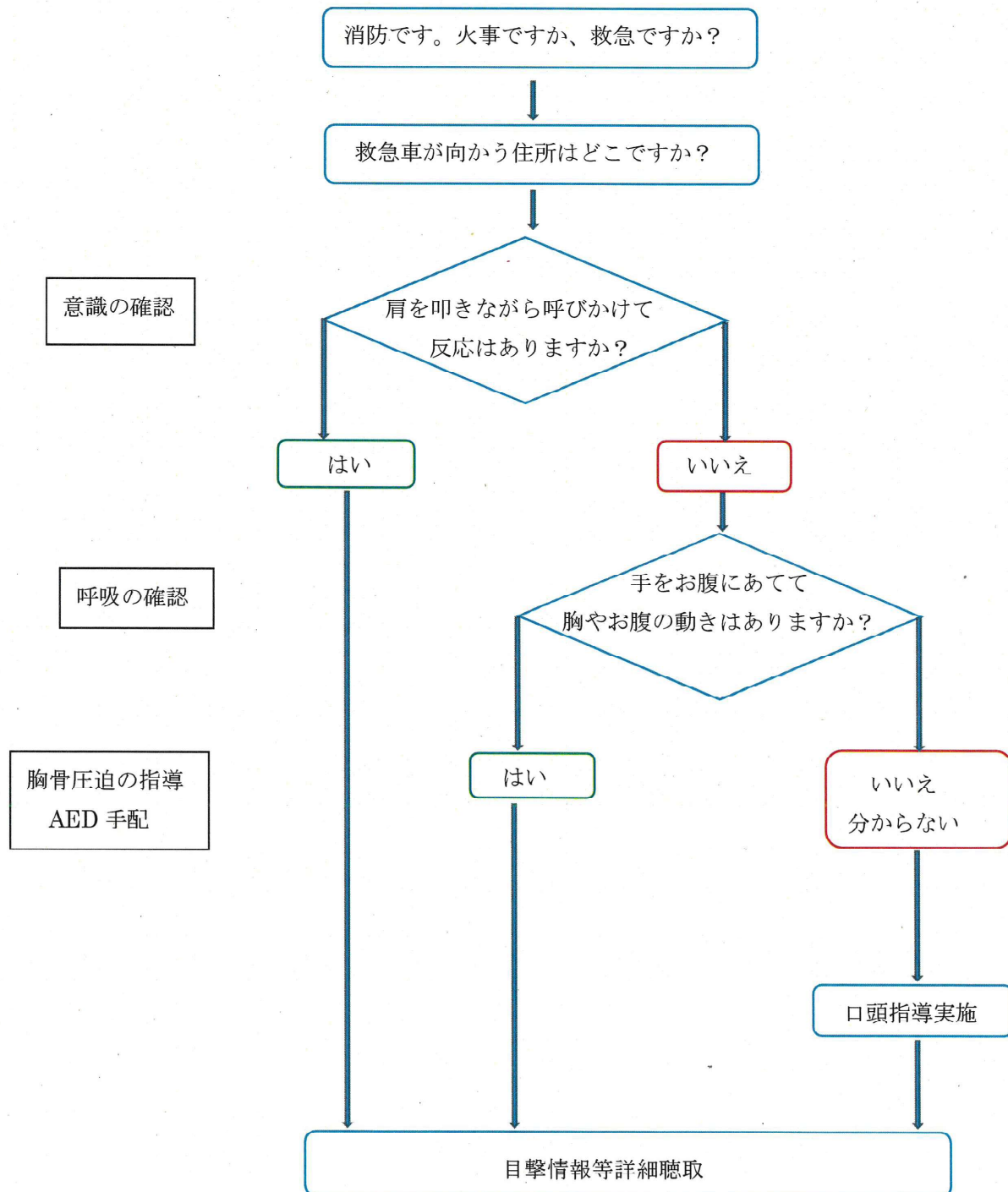
緊急度とその定義

緊急度（定義）		
	サブカテゴリ定義	部隊運用の例
赤 (緊急)	・すでに生物学的に生命危機に瀕している病態 ・増悪傾向あるいは急変する可能性のある病態	
	【R1】心肺蘇生の必要性が強く疑われる病態	救急車+消防車（+ドクターカー）
	【R2】高度な医学的判断・処置の必要性が高く、その開始までの時間に急を要する病態	救急車（+ドクターカー）
	【R3】高度な医学的判断・処置の必要性は R2 より低い、迅速な到着と搬送が必要な病態	救急車（+消防車）
黄 (準緊急)	時間経過が生命予後・機能予後に影響を及ぼす病態	
	【Y1】医学的判断の必要性は高いが、R2・R3 ほどの迅速性は必要ない病態	救急車
	【Y2】医学的判断の必要性は R1～Y1 ほど高くないが、医療機関への受診が必要な病態	救急車
緑 (低緊急)	上記には該当しないが、診察が必要な病態	
	【G】赤、黄には該当しないが、診察が必要な病態	救急車
白 (非緊急)	上記に該当せず、医療を必要としない状態	

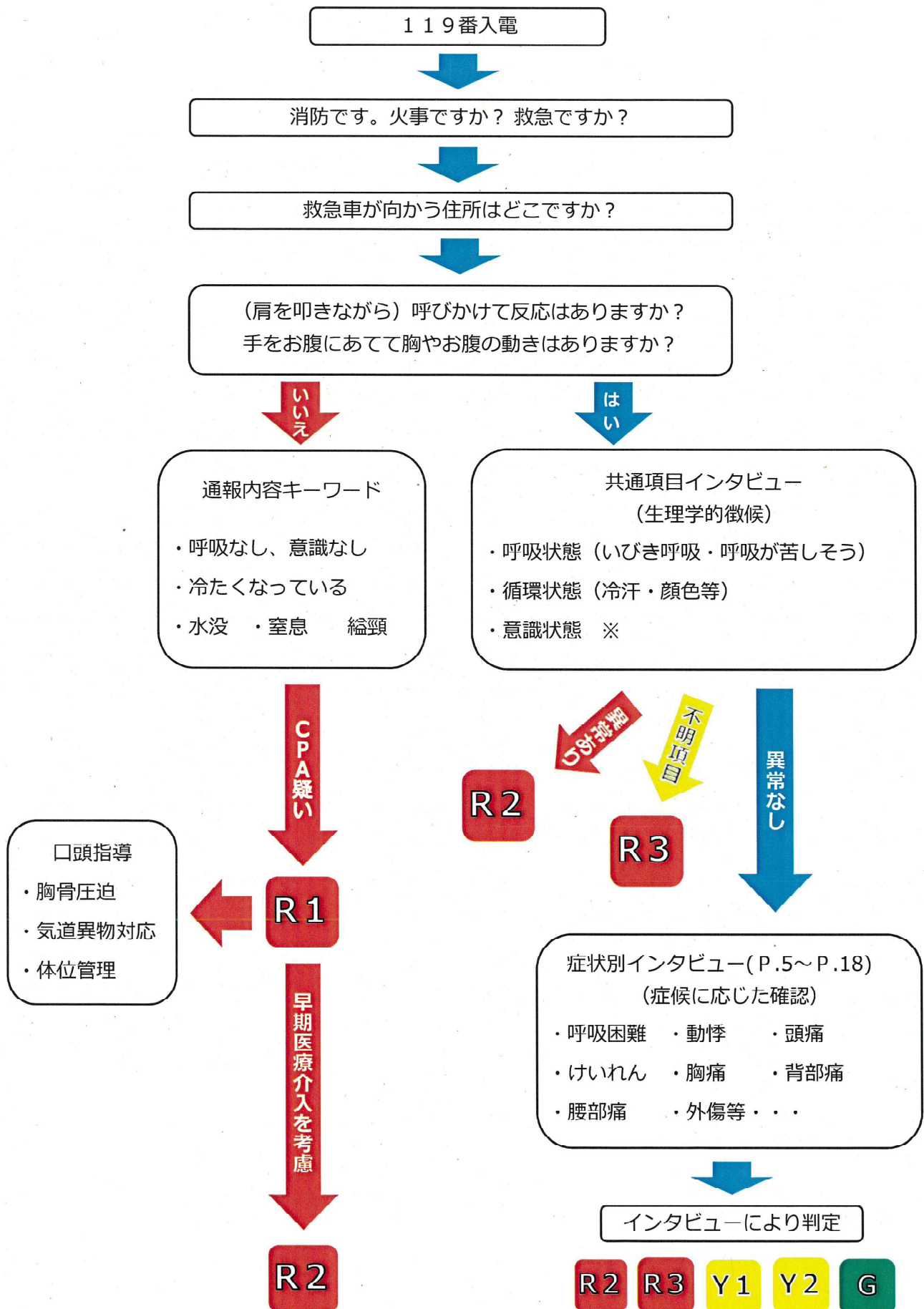
※独自の基準により PA 連携やドクターカー出動基準を設け、運用している自治体あり

119番入電時導入要領フローチャート

119番入電時 導入要領



緊急度判定のアルゴリズム



※意識状態 つじつまが合わない・単語しか話せない・うめき声のみ・声が出ない・内容が不明・途切れ途切れの会話

【 症候別インタビュー 】

意 識 障 害

通報内容

- ・ 反応（意識）がない
- ・ 意識がないようだ
- ・ 変なことを言う
- ・ うわごとを言っている
- ・ いつもと様子が違う
- ・ 様子がおかしい
- ・ 気を失った
- ・ 気を失いかけた
- ・ 人が倒れている
- ・ 人が突然倒れた

など

インタビュー

- ・ （呼吸、意識の状態から呼吸停止が否定できない場合）
傷病者を見て、呼吸をする度に合図をしてください。
※呼吸の合図の間隔が10秒以上（死戦期呼吸）

【はい】

R1



口頭指導

- ・ 胸骨圧迫
- ・ 気道異物対応
- ・ 体位管理

【実施できない】

R3

【いいえ】



- ・ これまでに心臓の異常を指摘されたことがありますか？
 - ・ お腹を痛がっていますか？
- 【はい／いいえ／不明】

いずれかに
【はい】がある

R2

【不明】がある

R3

全て【いいえ】

Y2

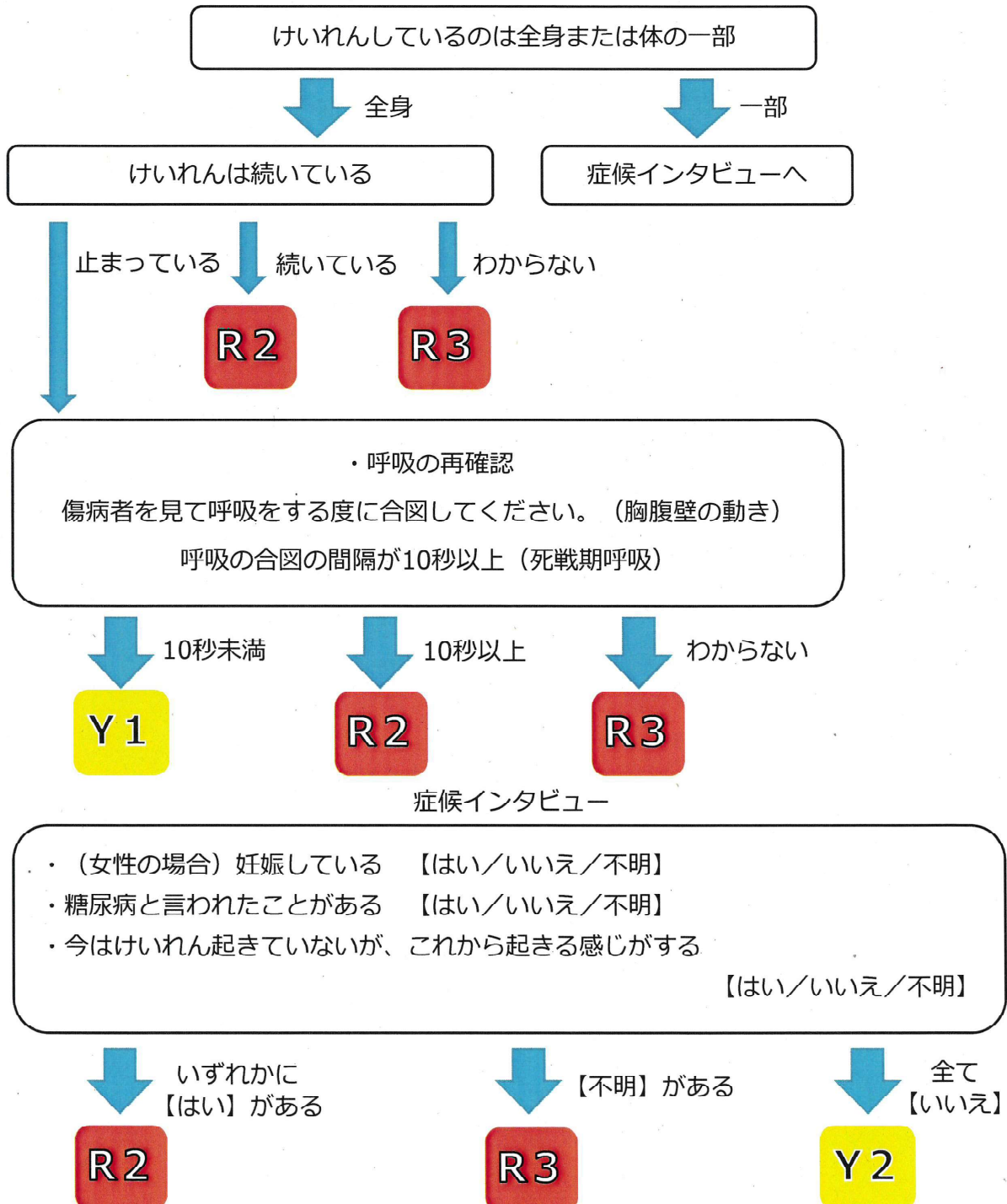
【 症候別インタビュー 】

け い れ ん

通報内容

- ・ひきつけ
 - ・がたがた震えている
 - ・白目をむいている
 - ・てんかん
 - ・泡を吹いている
 - ・けいれんを起こしている
- など

インタビュー



※これまでに、「けいれん」や「てんかん」を起こしたことがあるか聴取する。

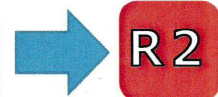
【 症候別インタビュー 】

呼 吸 困 難

通報内容

- ・呼吸困難
- ・ヒューヒューいっている
- ・呼吸がおかしい
- ・肩で息をしている
- ・息ができない
- ・ゼーゼーいっている
- ・息が苦しい
- ・呼吸が苦しい
- ・息をするとき音ができる
- ・痰が絡んだような音ができる
- ・喘息発作

など



R2

※各症候共通項目がすべて異常なしでも呼吸の異常を示す緊急性の高い症候のため

具合が悪い・気分が悪い

通報内容

- ・具合が悪そう
- ・気分が悪そう

など

インタビュー

- ・どこか痛いところがありますか？
【はい/いいえ/不明】
- ・それはどこですか？
 - a. 頭
 - b. 胸
 - c. 腰背部痛
 - d. 腹痛

a. 【はい】

頭痛へ (P.11)

b. 【はい】

胸痛へ (P.8)

c. 【はい】

腹痛へ (P.10)

d. 【はい】

腰背部痛へ (P.9)

いずれかに
【はい】がある



Y1

【不明】がある



R3

全て【いいえ】



Y2

- ・急に手足の力が抜けた感じ、または手足の動きにくさがある
【はい/いいえ/不明】
- ・しゃべりにくい、またはしゃべりにくそう
【はい/いいえ/不明】
- ・下痢または嘔吐をしてる
【はい/いいえ/不明】

【 症候別インタビュー 】

胸 痛（非外傷性）

通報内容

・ 胸が痛い ・ 胸が苦しい など

インタビュー

- ・ 吐いたり、吐き気がある 【はい/いいえ/不明】
- ・ (20分以上)持続する胸痛・絞扼痛がある 【はい/いいえ/不明】
- ・ これまで心筋梗塞や狭心症と言われたことがある 【はい/いいえ/不明】
- ・ これまで同様の痛みが何度かあった 【はい/いいえ/不明】
- ・ 40歳以上 【はい/いいえ/不明】

↓
いずれかに
【はい】がある
R2

↓
【不明】がある
R3

↓
全て【いいえ】
Y2

動 悸

通報内容

・ (胸が) ドキドキする ・ 動悸がする など

インタビュー

- ・ これまでに心臓の異常を指摘されたことがある 【はい/いいえ/不明】
- ・ 埋め込み型除細動器の埋設がある傷病者で30分以内に体内式埋め込み型除細動器が発動した 【はい/いいえ/不明】
- ・ (40歳以上の場合)
胸痛がある 【はい/いいえ/不明】

↓
いずれかに
【はい】がある
R2

↓
【不明】がある
R3

↓
全て【いいえ】
Y2

・ 12時間以内の薬（処方薬・市販薬の薬品名）の服用があるか聴取する